



The service club to the YMCA

THE Y'S MEN'S CLUB OF TAKARAZUKA

宝塚ワイズメンズクラブ
〒 662-0977 西宮市神楽町 5-23
西宮 YMCA 内
Tel (0797)35-5987

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATION OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988

宝塚ワイズメンズクラブ 2016年11月会報 第338号

主 題 ・ 標 語
国際会長(I P) JOAN WILSON (カナダ)
主 題: “ Our Future Begins Today ”
「私達の未来は、今日から始まる」
アジア地域会長(AP) Tung Ming Hsiao
主 題: “ Respect Y's Movement ”
「ワイズ運動を尊重しよう」
西日本区理事(RD) 岩本 悟 (熊本にし)
主 題: 「ワイズ魂で 更なるワイズの活性化を！」
“ Energizing Y's Men's Clubs with the Y's spirit ”
副 題: 「定例会の充実と活発な奉仕活動でメンバー倍増！」
Doubling membership through having substantial
Meetings and active service!
六甲部部長 長井 慎吾(西宮)
主 題: 「楽しい交流とやりがいのある奉仕活動で
更なるクラブ活性化を図ろう」
宝塚クラブ会長 若林 成幸
主 題: 「限らない挑戦で新たな気風を呼び込もう！」

今月のテーマ:
また、あなたがたが祈るときは、異邦人のようにくどくどと述べてはならない。異邦人は、言葉数が多ければ、聞き入れられると思込んでいる。
(マタイ6章7節)

2016年11月例会

日 時 : 2016年11月 9日(水)18:30
場 所 : 宝塚ホテル ゴールド
会 費 : 会員3,100円、会員外3,500円
ドライバー 鯖尻佳子 杉谷 和代
開会点鐘 若林 成幸会長
ワイズソング 全 員
ゲスト・ビジター紹介 会 長
聖書朗読 福田 肇
祈 禱 堀江 裕一
晩 餐 一 同
お話し

スピーカー 大類 隼人 氏

「国際保健の世界
私が信じる世代の仕事」

インフォメーション
YMCAニュース
誕生日記念日

閉会点鐘 若林成幸会長

2016/17 役 員	会 長 若林成幸 直前会長 鯖尻佳子 副会長 多胡葉子 書 記 武田寿子 会 計 吉田 明 堀江裕一 会計監査 加藤光信 連絡主事 谷川 尚 メネット連絡 福田素子
事 業 委員長	YMCAサービス・ユース 多胡葉子 地域奉仕・環境 福田宏子・EMC 杉谷和代 交 流 石田由美子・ファンド 堀江裕一 広 報(ブリテン) 長尾 亘 (HP) 長尾 亘
特別事業 委員長	NGO 鯖尻佳子 じゃがいも 福田 肇 バザー 多胡葉子 市民クリスマス若林成幸
お誕生日 おめでとう!	重松えみり(11日) 桑田祐紀菜(22日) 多胡 進(26日)
10 月 実 績	例会出席者数 22 在籍会員数 19名(名誉会員1) 出席会員数 13名 出席率 72.22% メイクアップ(内数) 0名 メネット 2名 コメット・孫メット2名、ゲスト・ビジター5名 BFポイント 10月 4,000円 累 計 12,930円 にこにこBOX 10月 11,000円 累 計 18,500円 ファンド(物品販売) 8,500円 累 計 18,750円

10月第1例会報告

10月第1例会は12日(水)午後6時30分より宝塚ホテル・ゴールドの間で若林会長の開会点鐘により始められた。出席者はメン・メネット 15 名コメント・孫メット 2 名、ゲスト 5 名、計 22 名。重松メンが入会後初の司会をつとめた。今回のスピーチがキャンプに関することで若者の参加を期待していたが果たされず、そんな中でも青柳メンの孫メット翔太郎君が参加してくれたことは私達にとっては大きな喜びであった。



ワイズソング、ゲスト・スピーカー紹介、聖書朗読、祈祷に続いて楽しく会食。その後西宮YMCAの阪田晃一氏によるお話し『「Camp for all」～新たなキャンプの可能性を見出す』を聴いた。阪田さんは学生時代に東山荘で自然体験型プログラムを体験。2006 年に神戸YMCAに入職、以来ずっと野外活動の担当。昨年より西宮YMCAに勤務しつつ、神戸及び関西YMCAのキャンプ事業を担当する専門家。



私達は「キャンプ」と言えば「楽しい」という言葉を連想するが、専門家の話しはそれほど単純なものではない。キャンプの歴史、種類、目的、成果、指導者の育成等について専門家の立場から系統的、論理的に話が展開された。私が印象に残ったのはキャンプの目的は「キャンパーの心理的、社会的、精神的発達に寄与すること」が基本であるということ。ただ「楽しかった」では済まされない。キャンプで得たことを現実の社会に活かせるのか？更には言えばキャンパーのその後の人生を変えることができるのか？……そこまで考えてキャンプが行なわ

れているのだということを改めて認識させられた。

時代と共にキャンプの形態も変化していく。手軽なキャンプに人気がある。子どもをキャンプに送り出す親のニーズも変わってきている。また公・私、他業種から参入もある。正に多様化の様相を呈しているのが最近のキャンプ状況である。その中で「YMCAのキャンプ」の理念を今後も守り、発展させ続けなければならない。現在の「障がい者も参加できるキャンプ」、「貧困層も参加できるキャンプ」が実施に向けて検討されている。

今こそ「YMCAの力」が発揮される時だと確信している。

各部会からの報告、YMCA報告、誕生祝いの後、閉会式の点鐘で終わりました。

吉田 明

10月第2例会報告

日時 10/19 18:30-21:00

場所 宝塚市立西公民館

出席者 若林、吉田、堀江、加藤、長尾、石田、多胡、武田 計8名

1. 今後の例会運営の確認

11月9日 お話 大類隼人氏

「国際保健の世界～私が信じる世代の仕事」
スクリーンとプロジェクターを用意する。

12月14日 クリスマス例会:

第1部 礼拝 奨励 東梅田教会伝道師

武久 盾氏

オルガニスト 船木仁美氏

第2部 ミニコンサート 笛:浅野知子氏

Violin :薄 時 氏

第3部 懇親会

1月11日 佐藤晴奈氏

臨床美術を楽しむ、お話と実践

2月8日 山口 宰氏

社会福祉法人オリンピア常務理事
ノーマライゼーションについて
老人福祉の現場から

2. 集客方法の見直し・改善

チラシの配布方法と効果、
若年者割引、過去参会者の名簿・DM、
12月のコンサート時にワイズメンクラブ六甲部の
紹介と宝塚クラブ1月～3月の例会案内
を配布など、今後も会員が知恵を出し行動
する必要が検討された。

3. 各委員会報告(石田)

①2017 年 6 月 8～10 日西日本区大会 実行委員
の選任(各クラブから原則 1 名)

組織の6委員会を分担、
準備委員会 11/7(月)18:30 YMCA にて実行委員
の役割分担協議

実行委員長石田から大野次期理事は六甲部
すべてのクラブにかかわって協力してほしいとの
意向があり、来年3月の会長研修までに第1
報を作成するために組織作りが急務、宝塚ク
ラブからは多胡メンを副実行委員長に推薦し
たいとの提案があり了承された。その他の委員
会の人選は今後準備委員会で決める。

②10/22 じゃがいも搬入の件(吉田)

現在予約228個を確認しているが、さらに追
加がありそうなので、福田(肇)メンと確認を急
ぐ予定、配送担当の確認。

③11/3 チャリティーラン(多胡)

10/31 に売店の準備のため品物を購入予定、
担当多胡、青柳、例年通りカップラーメン144
個購入、お汁粉各100円で販売予定

11/3 参加者は宝塚南口集合、ホテル前8時

④11/19 きらりと輝くアート展

パンフ1000枚を各クラブ会長あてに郵送済
み、11/10 最終打ち合わせに須磨教会に多
胡メン、福田素子メネットが行く、当クラブか
らの参加者は7名

⑤11/12 六甲部会

参加者 若林、長尾、堀江、青柳、石田、
多胡、鯖尻、(杉谷)

メネットアワー参加者 若林、石田、多胡、
鯖尻、福田(素)

アトラクションについて、女性はフラのスカ
ートを着用、また石田メン準備のレイを全員

つけ一体感を出し歌うことを確認

4. ブリテン編集 (長尾メン)

原稿締め切り 11/26、校正 10/27-28.

原稿依頼

第1例会 吉田、

第2例会 武田、会長報告 若林

ローンボール 多胡、

琵琶湖部会 武田、

九州、瀬戸山陰部会 若林

西中国部会 長尾、

じゃがいも入荷 福田(肇)、

YMCAニュース谷川

その他 (吉田)

9月例会出席者数 13名(在籍19名)

メネット2名 コメント1名 孫ネット1名

ビジター5名 出席会員数22名

BFポイント 10月 4000円 累計12930円

ニコニコBox 11000円 累計18500円

ファンド(豚肉販売)8500円 累計18750円

11月例会司会 鯖尻、若林

聖書朗読 福田(肇) 祈祷 堀江

書記・武田 寿子

会長より一言

熊本地震から半年経過。被災地の現状やそこで
頑張っている方々の様子を知りたくて九州部会に
出席しました。部会は 10 月 2 日(日)午後から熊本
市のホテルで催され、九州部 14 クラブの 99 名と西
日本区の 22 クラブから 41 名 計 140 名が出席。
開会式に続く講演は「ワイズの働きと YMCA とのか
かわり」と題し、YMCA ブランディング問題の途中
報告・鹿児島 YMCA の設立報告・九州各県におけ
る YMCA とワイズ連携の現状報告・熊本ジェーンズ
の事例報告でした。また、懇親会の中でワイズの働
きを中心に熊本地震の報告が行われ、多くのクラ
ブから寄せられた支援に対する感謝が表明されま
した。

震災後の煩雑な仕事の合間に取り纏められた報告、九州地域の現状を知ると共に暖かい心情に触れることが出来ました。鹿児島クラブの面々とも親しくお話をさせていただきました。

翌日、大阪土佐堀の奥田時夫メンと共に、ジェーンズクラブの前田香代子メン・八代クラブの森律子メンの案内で被災地を回りました。今回の地震で最も被害の大きかった益城町にある古い民家は、今なお被災したまま倒壊・半壊状態で残っており、取り壊しは3%という現状。TV でレポートされ、一時、住民 1600 名が避難していた体育館(YMCA が受託管理)には今も 200 人ほどの避難者がひっそりと住んでおられ、YMCA のご苦勞とワイズの奉仕の業を思いました。

続いて、10 月 15 日(土)午後から岡山市のホテルで行われた瀬戸山陰部会に出席しました。部の再生を！との呼びかけに応え 87 名が参加しました。一連の部会行事に引き続き、「差別と偏見のハンセン病・・・今」と題し 2 人の方の講演。「らい予防法」が廃止されて 20 年、「ハンセン病問題の解決の促進に関する法律」が施行された後も差別や偏見があり、誤った国策の影に埋もれ方の訴えに耳を傾け、人権回復のために活動されている牧師の現実を知ることとなりました。

懇親会では野菜を材料にして作った「野菜笛」の演奏、たて笛とおなじような音色で癒やしのひとときを過ごしました。

若林 成幸

例会ゲスト・プロフィール

11月
例会



1981年生まれ
2006年兵庫医科大学卒業後、呼吸器外科、救命救急医として京都、神戸の病院で勤務。2011年より兵庫医科大学呼吸器外科救命救急科兼任

助教授。その間に東日本震災、東トルコ地震での救命医療活動に参加。

2011年国際医療支援NGO[Future Codo]設立。

2012 年兵庫医科大学を退職し、海外での医療活動などに取り組む

第21回 びわこ部部会に参加して

第21回びわこ部部会が10月8琵琶湖汽船のピアンカにて、彦根ワイズメンズクラブのホストで開催され、石田メンと出席し交流を楽しみました。

びわこ部部長の今期の主題は「原点回帰 YMC

Aと共に」で、

参加者は14

6名、各部

会から大勢

参加者があ

り秋の一日



船上で、式典、竹生島散策、ラブバードの楽しい

音楽を聴き、湖上の風景を楽しみました。特に彦

根クラブの島野喜道ワイズの司会が90歳という年

輪を重ねた飄々とした話術で、プログラムを盛り上

げ笑いの絶えない式典、懇親会でした。竹生島散

策ではデンマークから来たSTEP交換学生のエス

ベンさんと島のでっぺんまで急な石段を登り弁財

天の社を参拝、また彼は東日本区でのホームステ

イ後、びわこ部近江八幡クラブで滞在し、様々な体

験を楽しんでいる様子を上手な日本語で報告して

くれました。素晴らしい部会を準備してくださった彦

根ワイズメンズクラブの皆様に感謝です。

武田 寿子

西中国部部会・岩国みなみ クラブ5周年記念式典

10月29日(土)8時4分の新幹線に乗って新岩国にある「山賊」言う所で有った西中国部部会とホストクラブの岩国みなみクラブ5周年記念式典に参加しました。料理は山賊料理に堪能して、約120名の参加の中で岩国みなみクラブの新入会員の入会式があり、沢山の立会人の前で宣誓があつてきっと忘れる事が出来ないとおもいます。



長尾 亘

車椅子甲山登山

2016 年 10 月 22 日(土)12:45、宝塚市の武庫川沿いにあるはんしん自立の家で車椅子甲山登山出発式が執り行われました。今年で 10 回目になる、このとんでもない行事には、はんしん、はりま、宍粟の自立の家の入居者のみなさん、支える人達、報道関係者で 100 名を超す大出発式になりました。宝塚クラブの若林成幸会長、武田寿子ワイズ、



多胡葉子ワイズ、石田の 4 名もその中に。

10 年前に石田英子施設長が登山家の續素美代さんに出した「毎日見ている甲山に車椅子で登れる方法を考えて下さい」と言うハガキから始まり今日まで、登山者、支援者など延 1000 人を超える人達の参加になったそうです。車椅子の 6 人を関学ワングル、神戸医療福祉専門学校生などが 6 名編成の支援隊が担いで次々とリレーして頂上まで登ります。下山は車椅子ではなくボランティアの背中に乗って登山出発点の神呪寺まで戻りバスで自立の家に帰ると言う行程です。

登山チーム代表挨拶、入居者代表挨拶などの後に、日英協会と宝塚ワイズメンズクラブ合同の特設応援団が鐘や太鼓を鳴らして出発を盛り上げました。

来月のフラレッスンの時、みなさんの感想を聞くのが楽しみです。

石田由美子

六甲部交流ローンボウルズ 大会に参加

10 月 1 日(土)開催された六甲部交流事業主催のローンボウルズ大会が

神戸しあわせの村で開催され、宝塚から若林会長、長尾メン、多胡の 3 人が参加。ローンボウルズは

発祥がイギリス、芝生の上のボーリングとして親しまれていること。

神戸学園都市クラブのローンボウルズクラブのメンバーのご指導よろしく 20 人のメンバーで楽しんだ。



簡単そうでとても体力がいるスポーツ。というより普段使わない筋肉を酷使。我がクラブの 3 人のプレーは午前中でできあげたものの夕刻ぐらいから足腰の筋肉痛と思わぬ疲労がでてきて、普段如何に体を動かしていないかが証明されたように思われた。ゴルフのプレーよりきつかったのは私のみか。短時間のプレーにのめりこみすぎたせいかな。しかしながら大いにロプレーともに楽しい交流のひと時であった。

多胡葉子

西神戸YMCAワイワイ祭り 訪問記

10月22日(土)、じゃがいも搬入後、西神戸YMCAワイワイまつりに行ってきました。神戸学園都市クラブの方々はピロティで杵で御餅をつき販売されてました。蒸籠でもち米を蒸し杵で御餅をつくということは大変だと思いますが、たくさんの子供たちがとっても楽しそうにその様子を見学していました。出店も十数店と多く焼きそばやからあげ、わたがし、ポップコーンなど販売されてました。ステージではフラダンス、キッズダンス、太極拳が行われてました。子供たちや家族ぐるみの方が多くとても賑やかでした。野呂隆直前会長のご案内でいろいろ説明して頂きながら楽しく過ごすことが出来ました。抽選券もしっかり買ってきました。こうして他のクラブの活動に行かせて頂くのは交流に繋がっていくのではと思いました。学園都市は少し遠いですが、また来年も行きたいと思います。



鯖尻佳子

【今月のみ言葉】

前回の箇所(マタイ6章6節)の直後に続くこの箇所でも祈りが主題になっています。前回の箇所では、どのような場所(環境)で祈るべきかという点が問題にされていましたが、ここでは適切な祈りの長さについて述べられており、特にくどくどと祈る異邦人の祈り方が批判されています。そのようにくどくどと祈る人は、言葉数が多ければ多いほど祈りは聞き入れられると誤解しているが、祈りはむしろ簡潔になされるべきであり、それは何より、天の父は願う前から私たちに必要なものをご存じだからというのです。

「祈りは簡潔なほど良い」と聞いて少し意外に思う方もおられるかもしれません。実際、祈りの言葉を巧みに連ねてとうとうと祈ることができる人の方が、そうでない人より、信仰深いように思えるからです。しかしながら、もちろんここでは祈りは短かければ短いほどいいと言われているわけでも、中身のない薄っぺらな祈りが推奨されているわけでもありません。ただ、形式的な表現を繰り返すだけの心のこもっていない冗長な祈りが批判されているのです。事実、くどくどとした祈りは、往々にして自分の個人的な願いに終始する独りよがりの祈りになりがちであり、一方的に自分の願望を語るだけで、それに対する神の応答を聞こうとしない自己満足の祈りになりがちです。その意味でも、まさに前回の箇所にも示されていたように、祈りの本質は何より私たちと神との対話であることを今一度、思い起こすべきではないでしょうか。

嶺重 淑

YMCA だより



いずこも同じかも知れませんが、YMCAも新年度の準備に向けての忙しい時期となっています。来年はいよいよ神戸YMCA三宮会館が与えられることとなります。これまで行ってきた、専門学校や日本語学校、本部としての活動もですが、共同事業者である生活科学運営とこの高齢化社会という大きな課題に向けての歩みをスタートさせることとなります。多くの支援やかかわりで準備がなされてきましたが、次年度の新しい歩みが祝福されたものとなるようにお祈りあわせてください。なお、3月には内装も終わり引越しにかかりますが、皆様へのお披露目は年度が変わってから行う予定で検討をしています。

1. 世界合同祈祷週～YMCAセミナー

世界中のYMCA・YWCAが11月の1週間、祈りを共にし世界との繋がりのなかで変革を考えると持ちます。今年度のテーマは「leaving no one behind～誰も置き去りにしない」です。社会的弱者に眼を向け祈り考える時間を持ちます。神戸YMCAでも神戸YWCAと合同で礼拝のときを持ちます。(朝祷会は11月14日(月)7時より三宮キリスト教会チャペルにて、また合同礼拝は11月15日(火)9時より神戸YWCAにて)

また11月26日(土)には「神戸YMCA130周年YMCAセミナー」と冠して、日本基督教団神戸教会において12時45分より、今のYMCAと非常時のYMCAの活動を振り返る時間を持ちます。東北被災者支援の現場、熊本地震支援の現場の声を祈りと共に触れる時間を持ちます。こちらは当日参加歓迎ですのでぜひご参加ください。

祈祷週やYMCAセミナーについての詳細は <http://www.kobeymca.org/> よりお知らせをクリックしてください。

2. 西宮YMCA地域ファミリープログラム

西宮のYMCAでは、野外活動やキャンプ、学童保育や保育園、障がいのある子どもの療育など、日ごろ子どもの活動を中心としています。秋の一日を家族で一緒に過ごせる時間を企画しています。様々なYMCAの会員がそれぞれに繋がりあう時間を持てればと行っているものです。お知り合いのYMCA会員の方がいれば是非！参加お待ちしております。

日時:11月23日(水・祝)

場所:六甲山YMCA

内容:家族で野外活動！

3. 冬の特別プログラム

今年も冬に、スキーや雪遊び、この季節、このときだからこそ経験できる活動を中心に、冬のキャンプ募集が始まっています。

ぜひ多くの子どもたちが豊かな経験の中で「平和を創る」存在として成長していけるように、特に学生ボランティアを中心として準備をしていますので、多くの方にお伝えください！

詳細は www.kobeymca.org に掲載しています。

4. 神戸市民クリスマス

まもなく、主の降誕を待ち望むときとなります。今年度も神戸YMCAは神戸市内のキリスト教諸教会と一緒に「第58回神戸市民クリスマス」を行う中で、祈りと喜びを共にするときを持ちます。エキュメニカル(超教的)なかわりによって、様々な方々が、共にキャロリングを行ったり、祈りと祝福のときをもっている姿は幻想的かつ平和を思える貴重な時間となることでしょう。

ぜひ多くの方にご参加ください。

日時:12月16日(金)夕刻～

場所:メイン会場はカトリック神戸中央教会(プログラムによって集合場所が違います)

詳細は www.kobeymca.org/shiminxmas/